

令和6年度 主要施策の成果説明書

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

上山市教育委員会

令和 6 年度 主要施策の成果説明書

所属

教育企画課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-4 学校施設

施策

1-4-1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略 5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進

方針

安全・安心で、多様な学習内容や形態に対応できる施設整備を図ります。

目標

1 学校施設・設備の良好な環境整備

学校施設・設備の老朽化等に伴う改修や整備が引き続き必要です。良好な教育環境のため長寿命化改修を中心とした計画的な老朽化対策工事や修繕を進めるとともに、教材等の整備を引き続き進めます。

2 安全・安心な防犯対策の推進

近年、学校に不審者が侵入する事件が全国的に発生しています。不審者の学校侵入を防止するための対策として、防犯設備の整備を推進します。

3 学校給食センターの適切な管理運営

施設・設備等の老朽化に伴う更新および修繕を引き続き計画的に進めるとともに、定期的な保守点検と衛生管理の徹底を図り、安全・安心で栄養バランスのとれたおいしい給食を安定的に提供します。

4 ICT環境の充実

GIGAスクール構想によって整備されたICT機器を利活用し、一人ひとりの学習進度に合わせた教育を推進するほか、校務効率化を図ります。

実績

1 学校施設・設備の良好な環境整備

- (1) 上山市学校施設長寿命化計画を改定し、それを基に計画的に環境改善工事を1校行うとともに、老朽箇所の改修工事や急な修繕などの対応を行いました。また、計画的に学校の備品や教材の更新、整備を行いました。

2 安全・安心な防犯対策の推進

- (1) 校内への不審者侵入防止対策の一つとして、来校者を職員室で確認できるように小・中学校の昇降口と職員室をつなぐモニター付きドアホン及び電気錠を設置しました。

3 学校給食センターの適切な管理運営

- (1) 老朽化している設備等の更新や修繕について、状況を鑑み、優先順位を適宜定めながら行い、安全で安心な給食提供を実施しました。

4 ICT環境の充実

- (1) 令和元年以降に導入した機器類が更新時期を迎えることから、動作環境の遅さなど現在抱える課題解決に向けたネットワーク環境、セキュリティ対策、端末等の選定について教職員と協議し、第2期GIGAスクール構想に基づくフルクラウド環境や端末整備について合意形成しました。また、整備に係る国の交付金について調整を図り財源を確保しました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
環境改善のための工事を実施した学校の数	校	1	—	—	—
学校給食施設・設備等における食中毒や異物混入による事故発生件数	件	8	—	—	—

指標の変化に対する分析

工事を実施した学校の数について、上山市学校施設長寿命化計画に基づき工事を行っているため 1 校の工事となりました。
異物混入件数について、令和 5 年度実績（15 件）に比較して半減しました。

目標の実現に向けた今後の取組

環境改善のための工事について、引き続き上山市学校施設長寿命化計画に基づき工事を進めてまいります。
I C T 教育の充実については、令和 7 年度にフルクラウドの新教育ネットワーク整備と児童生徒用端末の更新を行うことで課題を解決するとともに、教職員の働き方改革を促すことで、児童生徒に向き合う時間を創出し、児童生徒主体の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。
また、学校給食について搬入される食材の検収、調理作業時の安全対策の徹底を図り、事故発生の防止に努めます。

令和6年度 主要施策の成果説明書

所属

教育企画課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-4 学校施設

施策

1-4-2 学校規模の適正化の推進

創生総合戦略 該当無し

方針

活力ある学校教育の実現に向け、学校規模の適正化を図ります。

目標

1 よりよい学校の在り方の検討

児童生徒数はさらに減少傾向が見込まれます。一定規模の集団生活の中で、多様な考え方に触れ、社会性を養うとともに確かな学力を獲得するため、引き続き、今後想定される複式学級の解消に努める必要があります。

今後の人口の動態をふまえ、教育課程の目的を達成するために必要な、望ましい学校規模およびよりよい学校の在り方など、検討委員会において将来構想の策定を進めます。

実績

1 よりよい学校の在り方の検討

- (1) 上山市みらいの学校構想検討委員会を設置（保護者代表・有識者等15名で構成。2回開催（8月・12月））。教育DXの進展、経済活動のグローバル化及び少子化による児童生徒の急激な減少等の加速度的に変化する社会に対応し、本市小・中学校の将来のあり方を示す「上山市みらいの学校構想」を策定するための検討、アンケート調査項目の決定等を行いました。
- (2) 上山みらいの学校づくり意見交換会を開催（全23会場 参加人数188人 9～11月）。検討委員会での協議内容について、広く市民の意見を伺い「上山市みらいの学校構想」の検討を進めるため、保育園、認定こども園、小・中学校、地区公民館で意見交換会を実施しました。
- (3) みらいの学校づくりに関するアンケートの実施（回答数 保護者521人、市民27人、児童生徒636人、教職員117人 令和7年2月～4月）。保護者や児童生徒等の考え・意識をより詳細に把握し、「上山市みらいの学校構想」策定に関する方向性など検討委員会での議論を充実させるため、アンケート調査を実施しました。
- (4) 広報の実施。市報令和7年2月号で取組経過・アンケートの実施を周知しました。また通年で、市ホームページで取組経過を掲載し周知しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
学校規模適正化に係る会議等の参加人数	人	216	—	—	—

指標の変化に対する分析

学校規模適正化に係る会議等は令和6年度からの取組であり、保護者代表等で構成する検討委員会、全市民対象の意見交換会、アンケート調査など、1年間をかけて段階的に意見聴取を進めるとともに、意見内容の集約や数値化を行ってまいりました。

会議等（検討委員会、意見交換会の合計）の参加人数は216人であり、その中でいただいた意見を基に、アンケート調査項目をより詳細に設定。1,301人の方から、魅力ある学校づくりや時代に対応した教育環境の整備の推進のための方策について回答を頂けたことから、学校規模適正化について一定の意見集約が図られたものと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

市民との意見交換会・アンケート調査結果から、魅力ある学校づくりや時代に対応した教育環境の整備のための方策として「学校統合」を望む声が大多数であることから、検討委員会では「学校統合」の方向で「上山市みらいの学校構想（案）」の協議を進めております。

「上山市みらいの学校構想（案）」について、改めて市民との意見交換等の機会を設け、教育課程の目的を達成するために必要な望ましい学校規模とよりよい学校の在り方の実現に向けて合意形成を進めてまいります。

所属

学校教育課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-2 学校教育

施策

1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

方針

いのちの教育の推進や体験活動の充実を図り、豊かな人間性や社会性、健やかな体を育成します。

目標

1 いのちの教育の推進

日常の生徒指導を基盤とする発達支持的な生徒指導や、チーム学校による指導体制の充実により、いじめや不登校等の生徒指導上の課題の未然防止、早期発見による迅速な対応に努めます。

また、安全・安心な学校・学級風土の醸成により、教育活動を通して児童生徒の自尊感情を高め、自己のよさに気づけるようにします。

2 豊かな心と健やかな体の育成

読書に親しんだり運動の経験を増やしたりする取組を推進し、学びに向かう力や社会性、コミュニケーション能力等の非認知能力を育成します。発達段階に応じて健康で安全な生活を送ることができるよう、体力・運動能力の向上や食習慣をはじめとする基本的な生活習慣を改善します。

3 体験活動の充実

上山の自然や文化を活かした体験活動を充実することにより、豊かな感性を育みます。上山で働く大人と関わるキャリアスタートウィークの取組を通して、主体的に自己の進路を見つめ、将来の夢や希望を思い描けるようにします。

実績

1 いのちの教育の推進

(1) 児童生徒の学級満足度についてアンケート（ＱＵアンケート）を実施し、それに関する教職員研修会及びＳＯＳの出し方・受け止め方研修の実施により学校全体で生徒指導上の課題の未然防止、早期発見に努めました。

2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) コミュニティスクールの仕組みを生かして、地域の特産であるほしがき作りや米づくり体験など地域と連携した体験的な学びを推進しました。

3 体験活動の充実

(1) 中学校でのキャリアスタートウィークや小学校でのスキー教室など地域の力や特色を活かした活動を実施しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
ＱＵアンケートにおいて児童・生徒が「学級での生活に満足している」と回答した割合	%	54	—	—	—
体力テストにおいてＢ判定以上である児童・生徒の割合	%	31	—	—	—

指標の変化に対する分析

ＱＵアンケートについては、児童生徒のニーズが多様化している中、教員数が減少して抱えている業務が多くなり、子供と向き合う時間が十分に取れていなかったため、学級での生活に満足している割合が低かったためと思われます。また、体力テストについては、コロナ禍をきっかけとして学校行事や大会等も減っていることから、子供たちが活躍する機会が減っていることが要因と考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続きWEBＱＵやＳＯＳの出し方、受け止め方研修を行い、適切に子供の状況を把握すること、また、改善するための手立てについて教員が学ぶ場を設定します。また、今行っている教育活動の中で子供たちの良さを認められるような場面を見いだしていけるような取り組みとしていきます。

所属

学校教育課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-2 学校教育

施策

1-2-2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

方針

地域との連携を図り、社会や子どもの教育的ニーズに対応した魅力ある学校づくりを推進します。

目標

1 「一人ひとりの可能性をひらく」確かな学力の育成

学力の3要素である「知識および技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育むため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めます。また、小中連携を推進し、9年間を見据えた学びの連続性・系統性を重視するとともに、児童生徒の主体的な学びを促します。

2 安全・安心で信頼される学校づくり

Q-Uアンケートの実施により、学級集団や個々の児童生徒の状況を客観的に把握し、いじめや不登校の未然防止や居心地のよい学級経営の充実を図ります。また、児童生徒の安全・安心を確保するため、学校運営協議会を効果的に活用しながら、学校・家庭・地域・その他関係機関との連携を推進します。

3 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

すべての児童生徒がそれぞれの能力や特性に応じた教育を受けられるようにインクルーシブ教育システムを推進します。

また、児童生徒が心豊かに学び続けられるよう、校内におけるきめ細かな指導・支援体制の充実に努めます。さらに、関係機関等との連携を図り、適正な就学や教育支援、不登校児童生徒の学びの場や機会を保障します。

実績

1 「一人ひとりの可能性をひらく」確かな学力の育成

(1) 市内全小中学校に「授業づくりアドバイザー」として大学教授を年1～3回招聘し、授業改善のために指導・助言を受けました。

2 安全・安心で信頼される学校づくり

(1) WEBQ-Uの結果を踏まえ、市内全小中学校で講師を招聘しての研修を行い、結果の見方や手立てについて学ぶ機会を設けました。また、学校運営協議会で各校の課題や要望を委員で共有し、連携を強化しました。

3 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

(1) 教育支援委員会を3回開催し、就学児・在籍変更の児童生徒の適切な学びの検討を行い、ニーズに応じた教育環境の提供に努めました。また、学校に行きづらさを感じる児童生徒に対しては、上山市教育支援センターを相談窓口として、児童生徒の思いに寄り添いながら学ぶ機会の提供を行いました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
N R T 検査において50以上である児童・生徒の割合	%	51	—	—	—
児童・生徒が全国学力・学習状況調査において「学校に行くのは楽しい」と回答した割合	%	80	—	—	—

指標の変化に対する分析

N R T 並びに全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた分析のための職員研修により、個々の児童生徒の理解に基づいた学級経営が展開され、児童生徒や学級集団を支える体制づくりが学校内外で推進されました。

目標の実現に向けた今後の取組

授業づくりを軸に研修内容を充実させ、生徒指導も含めた個々の教師の授業力を向上させることで、「確かな学力」の育成を図ります。

所属

学校教育課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-2 学校教育

施策

1-2-3 特色ある学校づくりの推進

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

方針

ふるさとに誇りをもち、豊かな自然・歴史・文化など、地域の特色を活かした学校づくりを推進します。

目標

1 豊かな自然・歴史・文化など、地域の特色を活かした活動の充実

「地域とともにある学校づくり」や「学校を核にした地域づくり」を一体的に進めるため、各学校の地域の実情に応じた特色ある教育活動を展開するための支援を充実します。

また、斎藤茂吉のふるさととして、短歌教室やかみのやま教育の日の記念式典における短歌大会等を開催し、児童生徒の郷土愛の醸成を図ります。

2 児童生徒主体の特色ある学校づくりの推進

平成26年度に子どもたち自身の手によって制定した「かみのやま子ども宣言」の意識化・具現化を図るため、各学校の代表児童生徒を構成メンバーとする「かみのやま子ども会議」を定期的に開催します。

また、上山市の一員としてできることを、各学校の児童会や生徒会の取組と連動させ、児童生徒が主体となって実践できるように支援します。

実績

1 豊かな自然・歴史・文化など、地域の特色を活かした活動の充実

(1) 総合的な学習の時間等を活用し、地域人材や資源を活かした各校独自の活動を推進するとともに、その様子や成果を学校だより等で保護者や地域に発信しました。また、小学5年生と中学3年生を対象に講師を招聘しての短歌教室を開催し、教育の日記念式典で短歌を発表する場を設け、学びの成果を披露しました。

2 児童生徒主体の特色ある学校づくりの推進

(1) 夏休みに「かみのやま子ども会議」を開催し、小中学生が交流を深めるとともに、各地区の課題を分析し、地域を支えるための具体的な取組について共に考える機会を設けました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
学校評価において保護者が「特色ある教育活動が展開されている」と回答した割合	%	85	—	—	—

指標の変化に対する分析

各学校が地域に根差した教育活動を展開し、短歌教育や子ども会議の充実を図ったことで、児童生徒の学びを家庭や地域に還元することができました。

目標の実現に向けた今後の取組

各校の地域に根差した教育活動の支援を継続するとともに、児童生徒が上山市の一員として取り組もうとしていることを、教育の日のステージ発表において発信する機会を設けます。

所属	学校教育課	振興計画	第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」 1-3 グローバル社会	施策	1-3-1 英語を通じたコミュニケーション能力の育成
創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 移住・回帰につなぐきっかけづくり 都市部からの移住・交流の推進 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進				

方針

英語に触れ、親しむ活動や英語を用いてお互いの気持ちや考えを伝え合う活動を通し、英語による実践的なコミュニケーション能力を育成します。

目標

1 小中学校における英語教育の推進

A L Tや地域おこし協力隊等を配置するとともに、小中連携の視点を重視し、言語活動を核とした英語教育を推進します。

また、小中学校で一貫性のある特別な英語教育を提供することにより豊かなコミュニケーションの能力や国際的視野を備えた人材を育成するため、「英語特区」の指定に向けた検討を行います。

2 英語によるコミュニケーション機会の創出

幼児および児童生徒が英語を使ってコミュニケーションを図る機会を創出するとともに、市民による英語の学び直しの機会を提供することで、英語を学ぶ楽しさを味わえるようにします。

また、オンラインによる国際交流の機会やA L T等を講師とした英語体験教室、外国人訪問客への英語によるおもてなしの場など、英語によるコミュニケーションの機会を創出します。

実績

1 小中学校における英語教育の推進

- (1) 外国人A L T 2人及び地域おこし協力隊員1人を配置し、小学校3年生から中学校3年生の各クラスに週1回以上サポートできる派遣体制を整えました。英語教育コーディネーターを中心に、月1回開催したA L T打合せにて効果的な活動例等を共有し、ニュースレター等の共通プロジェクトに取り組みました。
- (2) 中学校2年生172人が英語技能検定を受験し、今後の指導に生かせるよう、英語教育推進委員会においてその結果を分析しました。
- (3) 中学校の英語授業研究会を2回開催し、授業づくりアドバイザー及び英語教育アドバイザーから助言を受けました。研究会に参加した教員37人が話し合い、授業を改善することができました。

2 英語によるコミュニケーション機会の創出

- (1) A L Tは10回市立保育園を訪問し、子どもたちと一緒に英語活動を実施しました。サマーキャンプに34人の児童生徒が参加し、ゲームを楽しみました。
- (2) 英語教育コーディネーター主催の英検対策講座に6人の生徒が参加し、二次試験の練習を行いました。
- (3) 教育の日に、9人の生徒がエコーホールで英語のスピーチを披露しました。また、加勢鳥の開催時に、6人の生徒がウェルカムスピーチとして、国内外から集まった100人ほどの訪問客の前で、英語による市の歴史、文化の紹介を行いました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
英語検定受験料補助金を申請した生徒の割合	%	6	—	—	—
市英語教育推進委員会が実施する「英語についてのアンケート」において「学習以外で日常的に英語を使う機会が十分にあった」※ 1 と回答した児童・生徒の割合 ※ 1 地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語のテレビやホームページを見ると回答	%	38	—	—	—

指標の変化に対する分析

英語検定受験料補助金については、予算500人（生徒数88%）分に対して、34人（生徒数の6%）が申請しました。多くの生徒が塾や学校の準会場で受験し、令和6年度は本会場の受験のみを対象としたため、申請が少なかったと考えられます。

令和6年に実施したアンケートでは、「学習以外で日常的に英語を使う機会が十分にあった」と回答した児童・生徒は38%でしたが、イベントなどの機会だけではなく、英語によるメディア等が身近になっていると気づかせたことが重要だと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

令和7年度からは英語検定の準会場においての受験も補助対象としていきます。また、市報掲載や英語教員を通じて情報提供するなどして、制度の認知度を上げていきます。英語教育コーディネーターを中心に、地域おこし協力隊員及びA L T の授業以外の活動で英語を使う機会を創出していきます。

所属

生涯学習課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-5 社会教育

施策

1-5-1 生涯学習環境の整備

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 家庭教育と地域教育の充実

方針

生涯学習環境の整備を図ります。

目標

1 生涯学習の推進

地区公民館では、住民の学習ニーズや地域の抱える課題を的確に捉え、人・自然・歴史・文化等の地域特性を活かした生涯学習を展開し、幅広い年代に多様な学習の機会を提供します。

また、住民が安心して快適に利用できる生涯学習環境の充実を図るため、地区公民館や公民館類似施設を整備・支援し、利用者の利便性の向上を図ります。

2 心豊かな子どもの育成

次代を担う子どもたちの情操や道徳心を培い豊かな人間性を育むため、学校・家庭・地域等多様な主体と連携を図りながら家庭教育の支援に取り組むほか、放課後子ども教室等では、豊かな人材や地域の資源を活用した各種プログラム等を提供することを通して、心豊かな子どもの育成に努めます。

3 多様な体験を通じた人材の育成

人・自然・歴史・文化など、ふるさとの地域特性を活かし、生涯学習の魅力を体感する機会を創出することを通して、これからの地域のコミュニティを担う人材を育成し、心の豊かさを育みます。

実績

1 生涯学習の推進

- (1) 各地区公民館において、各事業の目的や成果と課題を踏まえながら地域の特色を活かした事業、講座や教室を開催し、毎月公民館だよりを発行、各戸に配付するとともに、ホームページによる情報提供を行いました。また、令和4年度から引き続き10地区公民館全てにおいて指定管理者制度による効果的で効率的な運営を行っております。さらに、東地区公民館環境改善工事、宮生地区公民館屋根構造部外壁塗装工事、10地区公民館Wi-Fi整備工事、中山地区公民館集会室床材張替工事、山元地区公民館駐車場盛土工事を行うとともに、利用者の利便性の向上を図るため、皆沢公民館改修工事へ補助金を交付して支援しました。

2 心豊かな子どもの育成

- (1) 市内の保育施設等6施設で家庭教育に関する学習機会等の提供を行いました。また、放課後子ども教室を市内2か所で開催し、放課後・週末の子どもの居場所づくりを行いました。

3 多様な体験を通じた人材の育成

- (1) 子ども育成連絡協議会主催事業について、参加者数が少なくなってきた少年少女ミニバスケットボール大会を令和5年度で廃止し、令和6年度よりドッジビー体験会を開催し、子ども会の活性化と子どもたちの体力増進・健全育成を図りました。海の子山の子交歓会では、事業終了後アンケートを行い「参加してとてもよかった・よかった」は95%に達しました。高校生ジュニアリーダーあすなろでは、自主性を重んじた活動を行い、令和6年度より保

育園ボランティアを実施しました。「保育園児と交流し笑顔を作りたい」という思いのもと、あすなろ自ら作成した企画書をみなみ保育園、しらさぎ保育園に提出し、実施の承諾を得て、両園で実施しました。両園ともに「高校生が自発的に活動しておりとても良い活動」、「園児はとても楽しんでいた」と好評でした。令和6年度から始まった富士登山交流事業では、本市参加者同士の交流を促進するため班編成を混合にし、登山中は職員および参加者同士の声掛けが多く行われました。声掛けがあったから諦めず登ることができた、仲間の大切さを学べたという意見が多く上がり、学びが多い交流事業となりました。青少年育成市民会議表彰式を開催し、青少年育成功労者といじめ防止標語の表彰を行いました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
公民館事業へ参加した人数	人	20,963	—	—	—
放課後子ども教室参加児童の満足度	%	82	—	—	—

指標の変化に対する分析

公民館事業へ参加した人数につきましては、コロナ禍が明け、各地区公民館において実施する公民館事業参加者が毎年度、徐々に増加してきており、令和6年度につきましてもコロナ禍で公民館事業への参加を控えていた方が戻ってきたものと考えております。

放課後子ども教室参加児童の満足度については、児童の興味や関心を引く、普段体験できないようなプログラムの実施により、児童が楽しさや充実感を得やすかったと考えております。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も地区公民館を中心に人・自然・歴史・文化等の地域特性を活かした生涯学習を展開し、幅広い年代に多様な学習の機会を提供してまいります。また、放課後子ども教室ではアンケートを行い、子どもたちや保護者からの意見を収集し、得られたフィードバックを基にプログラムを改善し、満足度の向上に努めます。

所属

生涯学習課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-5 社会教育

施策

1-5-2 図書館機能の充実と読書活動の推進

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり 文化財の適正な保存と活用の推進

方針

利用しやすい図書館づくりと読書に親しみやすい環境づくりを進めます。

目標

1 魅力ある図書館づくり

図書資料等を計画的・体系的に収集し、所蔵資料の充実を図り、利用者の多様なニーズや課題に対応することで、読書活動を推進します。

また、子ども達が読書を通して感性を磨き、豊かな想像力や思いやりの心をはぐくみ、人間性を養うことができるよう、読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実を図ることで子どもの読書活動を推進します。

さらに、生涯学習の拠点施設として、地域関連講座や企画展等を開催し、学びの機会を提供するとともに、図書館来館のきっかけづくりを行い、生涯学習を推進します。

実績

1 魅力ある図書館づくり

(1) 図書資料等の購入や寄贈本なども含め、3,073点の受入れを行いました。6年度は寄贈により市内の民俗学的な資料が充実しました。新着本については、利用者の目に留まり利用が進むよう、新着本コーナーを引き続き設置しています。

ブックスタートアドバイザーによる子育て支援（マタニティ）ブックスタート講座を開催しました。こどもの読書週間イベントやテーマ展示、長期休みに合わせオススメ本のチラシ配布など啓発活動を行い、子どもの読書活動を推進しました。

生涯学習拠点施設として113回の事業・イベント（月1回の名作映画鑑賞会を含む）と、時節や時事問題に応じた20のテーマ展示を実施し、関連図書を紹介・展示することで、図書館資料を活用しました。

図書館だより「来ぶらり」の発行を年2回行った他、市報・チラシ・ホームページ・SNS（Facebook）・市公式LINE・山形県生涯学習情報システムなどの媒体を使い広報活動を行いました。

図書館の開架窓にUVカット、飛散防止、遮熱対応のガラスフィルムを貼付し、またWi-Fi環境の電波の強度、範囲を強化し、安全で快適な読書環境づくりを行いました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
図書館の入館者数	人	82,266	—	—	—
図書館での貸出冊数	冊	81,688	—	—	—

指標の変化に対する分析

入館者数、貸出冊数ともに前年度より微減となりましたが、会館日数も少ないため一日平均でみると入館者はほぼ増減ありません。貸出冊数の減少については、館内閲覧者や学習のための利用者の増加が考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

図書資料等を充実させながら、各種事業を企画開催するとともに広報の方法を工夫して来館のきっかけづくりを行い、利用者増を図ります。また、親しみやすい図書館となるよう環境整備に努め、子どもの読書活動も含む生涯学習を推進してまいります。

令和6年度 主要施策の成果説明書

所属

生涯学習課

振興計画

第1章笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-6 文化財・文化芸術

施策

1-6-1 文化財愛護による地域づくり

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり 文化財の適正な保存と活用の推進

方針

文化財愛護を通して地域の魅力を高めます。

目標

1 文化財の適正な保存・管理と利活用の推進

市民参加型の保全活動等を継続開催することを通して、文化財の適正な保存や活用を図るとともに、文化財に携わるコミュニティの育成や文化財関連情報の効果的な発信を通して文化財愛護の意識の醸成に努めます。

実績

1 文化財の適正な保存・管理と利活用の推進

- (1) 歴史的建造物を適正に保存し、後世に正しく伝承するため、茅葺屋根等を適正に修繕しました。修繕実績：武家屋敷「山田家」、櫓下宿「旧武田家」、春雨庵本堂
- (2) 国史跡「羽州街道金山越」で、市民参加による史跡の保全活動を実施しました。市民史跡保全活動実績：金山峠越え羽州街道における史跡保全活動5回参加人数82人
- (3) 市民が集い交流する活動拠点として歴史的建造物を活用しました。武家屋敷「旧曾我部家」活用実績：文化団体数7団体、利用回数27回、利用者数1,870人/放課後子ども教室「かみのやま寺子屋」参加児童延べ人数1,818人

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
公開文化財施設の入館者数	人	9,832	—	—	—
市民史跡※2保全活動参加者数 ※2 金山峠、櫓下宿、土矢倉古墳	人	82	—	—	—

指標の変化に対する分析

入館者数につきましては、コロナ禍での減少から武家屋敷は徐々に増加傾向、その他施設は平準化しています。市民史跡保全活動参加者数はリピーターにより一定数を維持しています。

目標の実現に向けた今後の取組

文化財の適正な保存と積極的な公開活用を図るとともに、諸調査による地域資源の磨き上げや調査成果の地域への還元を通して、ふるさと理解の推進と郷土愛の醸成を図り、住民主導の歴史まちづくりを推進します。

所属

生涯学習課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-6 文化財・文化芸術

施策

1-6-2 文化芸術の環境づくり

創生総合戦略

該当なし

方針

文化芸術活動の振興を図ります。

目標

1 文化芸術団体の育成と活動の支援

文化芸術団体が行きと組む自主的な活動と団体の育成を支援するとともに、文化団体協議会をはじめとする関係団体と連携し、文化芸術の振興を図ります。

また、文化芸術団体との連携のもと、地域で育まれてきた文化や芸術を体験する機会を提供することを通して、ふるさと理解の推進と郷土愛の醸成に努めます。

2 斎藤茂吉のふるさとづくり

斎藤茂吉のふるさととして、関係団体と連携を図りながら茂吉に縁のある多様な催事の開催を支援し、地域に根差した文化の振興を図ります。

実績

1 文化芸術団体の育成と活動の支援

(1) 文化団体協議会と共催で「第68回上山市総合文化祭」を開催し、活動発表の場を提供することで文化芸術活動への参加意欲の喚起を行ったほか、「第60回上山市文化芸術功労者を称える会」を開催し4個人を表彰しました。

2 斎藤茂吉のふるさとづくり

(1) 斎藤茂吉の生誕日や命日に合わせた魅力発信のため「第50回斎藤茂吉記念全国大会」及び「第58回茂吉忌合同歌会」を開催したほか、児童・生徒を対象とした「第22回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」では国内外の134校から8,407首の応募がありました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
市総合文化祭来場者延べ人数	人	5,650	—	—	—
斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール等における本市からの応募数	首	1,413	—	—	—

指標の変化に対する分析

市総合文化祭については、同会場でマルシェを開催するなど来場者増に向けた新たな取組を実施したため、令和５年度と比較して令和６年度の来場者が増加したものと考えております。

斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール等における本市からの応募数に関して、令和５年度と比較し令和６年度の応募数が減少したことについては、少子高齢化等や市内の人口の減少に伴い減少したものと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き市内文化団体と連携を図り、特に小・中学生が文化芸術活動に触れる多様な機会を提供するとともに、自主的な文化活動の支援を通して文化芸術活動の環境づくりに取り組めます。

所属

生涯学習課

振興計画

第2章 元気 「ともに支え合い、元気に暮らせるまちをつくれます」
2-2 スポーツ

施策

2-2-1 生涯にわたるスポーツ活動の推進

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

方針

生涯にわたり誰もが楽しめるスポーツ活動を推進します。

目標

- 1 誰もが生涯にわたりスポーツや健康づくりに親しむ機会の創出
市民一人ひとりが、生涯を通じて「する」「観る」「支える」スポーツや健康づくりに親しむことができる機会を提供します。
- 2 子どものスポーツ活動の推進
総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団および学校等の地域社会全体が連携・協働し、児童・生徒の体力向上とスポーツの楽しさや喜びを体験できるスポーツ環境の充実を図ります。また、競技力向上を目指すジュニア選手の育成・強化を支援します。
- 3 スポーツ施設の環境整備
市民の誰もが幅広くスポーツ活動を行うことができるよう、公共スポーツ施設等の改修および適正な管理運営に努めます。

実績

- 1 誰もが生涯にわたりスポーツや健康づくりに親しむ機会の創出
(1) 「観る」視点でプロスポーツを市民で応援する「市町村応援デー」を、サッカー・バスケットボール・バレーボールでそれぞれ行い、モンテディオ山形では2回、パスラボ山形ワイヴァンズ・アランマーレ山形では1回ずつ開催しました。また、「支える」視点では、スポーツ推進委員の定例会を年11回開催し、縦断駅伝や蔵王坊平クロスカントリー大会等、市のスポーツイベント等を推進いたしました。
- 2 子どものスポーツ活動の推進
(1) 委託事業として「市民スポーツ教室」及び「出前スポーツ教室」を計102回行い、816人の参加者でした。前年度の比較では846人から3.5%の減となりました。また、令和6年度は「部活動地域移行」の推進を目的とした、モデル事業を計3回開催し、59人参加となりました。
- 3 スポーツ施設の環境整備
(1) 体育文化センターエコーホールの「舞台機構」及び「移動観覧席」の経年劣化による部品交換工事を行いました。また、長年和式であったトイレの洋式化工事を実施しました。その他、廃止となった市民プールの代替として南小学校のプールを夏休み期間の31日間開場し、1,464人の利用となりました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
市総合体育大会及び総合型地域スポーツクラブ開催事業参加者数	人	1,802	—	—	—
公共スポーツ施設市民利用者数	人	192,844	—	—	—

指標の変化に対する分析

市総合体育大会及び総合型スポーツクラブ開催事業については、前年度と比較し、開催数は賃金水準の上昇等から120回から18回減り102回の開催でしたが、参加者数は一回当たりの参加者数が伸びたため、ほぼ横ばいとなりました。

公共スポーツ施設の市民利用者については、今回が初めての集計のため比較できませんが、市外利用者を含む全体の利用者数としては、前年度と比較し各種大会開催が多かったことなどから微増となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

誰もが生涯にわたりスポーツや健康づくりに親しむ機会の創出のため、市民がプロスポーツに関われる市町村応援デーや夢クリニックを開催してまいります。

また、スポーツ推進推進委員会定例会を通じ、各種スポーツイベントの開催や運営補助を推進してまいります。

子どものスポーツ活動の推進のため、部活動地域展開に向けた小中学生向けの事業を推進して参ります。

スポーツ施設の環境整備については、安心・安全な施設運営のもと利用者から体育施設を満足して利用してもらうため、施設修繕計画のもと体育施設の設備更新・修繕等を行ってまいります。

所属

生涯学習課

振興計画

第2章 元気 「ともに支え合い、元気に暮らせるまちをつくれます」
2-2 スポーツ

施策

2-2-2 スポーツを通じた地域活性化の推進

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

方針

スポーツを通じた地域活性化を推進します。

目標

1 スポーツを通じた交流の促進

市民がスポーツを通して交流を深め、相互に連携を図り活動することは、地域に一体感を生み出します。そのため、各種大会やスポーツイベント等の開催を通して交流人口の拡大を図ります。また、合宿、スポーツイベントで訪れるトップアスリートとの交流の機会を設け、選手のレベルアップにつなげるなど地域スポーツの振興を図ります。

2 蔵王坊平アスリートヴィレッジ整備構想の推進

施設の利用促進を図り、アスリートの育成とスポーツを通じた地域経済活性化への貢献を目指すとともに、TOKYO2020オリンピック・パラリンピックの事前合宿受入のノウハウを基に、2025世界陸上東京大会などでの海外からの事前合宿受入を積極的に取り組み、国際的にも利用してもらえる施設を目指します。

実績

1 スポーツを通じた交流の促進

- (1) 市民がスポーツを通じて交流を深めるため、蔵王坊平クロスカントリー大会及びツール・ド・ラ・フランス大会、市民スポーツフェスティバルなどの大会を開催しました。また、ツール・ド・ラ・フランス大会においては、持続可能な大会運営の観点から、期間型のイベント、ライドアラウンド編として初開催し、478名の参加登録がありました。

2 蔵王坊平アスリートヴィレッジ整備構想の推進

- (1) 蔵王坊平アスリートヴィレッジ事業では、新たな利用促進を図るため、NTC対象者以外の方にも広く、医・科学サポートが受けられるよう補助事業を創設し効果的に準高地トレーニングを行える環境づくりに努め18団体の利用がありました。また、トップアスリートとの交流事業については2回開催し、トップアスリートと市内ジュニアアスリートの交流を設けることにより、競技力向上はもちろん、子どもたちに、スポーツの楽しさや大きな夢・希望を育む機会となりました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
地域の子ども達との交流事業参加者数	人	177	—	—	—
蔵王坊平アスリートヴィレッジ市民利用者数	人	1,808	—	—	—

指標の変化に対する分析

トップアスリートと地域の子供達との交流事業については、前年度を超える参加があり、子供達からのニーズが高い結果となりました。アスリートヴィレッジの市民利用者数は、今回初めて集計となったため前年度と比較はできませんが、市外利用者を含む全体の利用者数は、前年度の冬季国民スポーツ大会が開催された影響などから減少しました。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、様々なスポーツ大会等を通して関係人口の拡大を図っていくとともに、蔵王坊平アスリートヴィレッジを国内問わず国際的にも認められる施設として充実できるよう関係団体等と連携を強化してまいります。

令和 6 年度 実施計画兼予算要求書（検証）

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 教育企画課 事業 委員会運営費 予算科目 01一般会計・10 教育費・01教育総務費・01教育委員会費

施策 1－4－2 学校規模の適正化の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

教育委員会の運営及び活動に必要な経費のほか、上山明新館高等学校教育振興会等への負担金を措置します。あわせて、上山市奨学金貸付基金により大学生への奨学金貸与事業を行います。

目的

教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、公正かつ適正に教育行政を推進するため。また、「上山市教育振興基本計画」のもと、教育の課題やあるべき姿を市長と教育委員とで共有し、教育行政の推進を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		5,441	5,248

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

上山市教育振興基本計画のもと他県、他市町村との情報交換を行い、当市の実情に応じた教育の振興が図られるように努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 教育企画課

事業 小学校管理費

予算科目 01一般会計・10 教育費・02小学校費・01学校管理費

施策 1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略 該当なし

事業概要

学校施設設備の維持管理及び学校運営に必要な需用費等を措置するとともに、学校司書等の任用や学校備品の購入等を行います。また、学校施設の老朽化に伴う維持修繕工事を行います。

目的

児童生徒が良好な環境のもとで学習できるよう学校施設整備や維持管理に努め、学校運営に寄与するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		342,458	244,549

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

西郷小中学校にかかる委託費及び工事費を令和7年度に繰り越したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

上山市学校施設長寿命化計画に基づき、引き続き環境改善のための工事や老朽箇所の修繕、学校備品や教材の更新に努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 教育企画課

事業 教育振興費

予算科目 01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費

施策 1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略 該当なし

事業概要

授業に必要な消耗品及び理科教育備品を整備するとともに、学校図書館に新着図書の整備を行います。

目的

現行学習指導要領に対応した教材整備基準に基づき教材備品等を整備し、教育活動の充実を推進するとともに、「上山市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館における蔵書の充実、整備に努め、読書習慣を身に付けることができる環境づくりを目指すため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		4,762	4,483

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

教材整備基準に基づき教材備品等を更新、学校図書館における蔵書の充実、整備に努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 教育企画課 事業 教育機器整備事業費 予算科目 01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費

施策 1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営 創生総合戦略 該当なし

事業概要

時代に対応したＩＣＴ機器の整備やＩＣＴ機器を安全・安心に使用できるようセキュリティ対策を行います。

目的

ＩＣＴ環境の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		23,417	23,343

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和7年度に、フルクラウドの教育ネットワーク整備と児童生徒用端末の更新を行うことで、動作環境の遅さなどの課題を解決するとともに、教職員の働き方改革を促すことで、児童生徒に向き合う時間を創出し、個別最適・協働的な学びの一体的な充実を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 教育企画課

事業 中学校管理費

予算科目 01一般会計・10 教育費・03中学校費・01学校管理費

施策 1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略 該当なし

事業概要

学校施設設備の維持管理及び学校運営に必要な需用費等を措置するとともに、学校司書等の任用や学校備品の購入等を行います。また、学校施設の老朽化に伴う維持修繕工事を行います。

目的

児童生徒が良好な環境のもとで学習できるよう学校施設整備や維持管理に努め、学校運営に寄与するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		198,976	185,924

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

上山市学校施設長寿命化計画に基づき、引き続き環境改善のための工事や老朽箇所の修繕、学校備品や教材の更新に努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 教育企画課

事業 教育振興費

予算科目 01一般会計・10 教育費・03中学校費・02教育振興費

施策 1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略 該当なし

事業概要

授業に必要な消耗品及び理科教育備品を整備するとともに、学校図書館に新着図書の整備を行います。

目的

現行学習指導要領に対応した教材整備基準に基づき教材備品等を整備し、教育活動の充実を推進するとともに、「上山市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館における蔵書の充実、整備に努め、読書習慣を身に付けることができる環境づくりを目指すため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		3,370	3,244

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

教材整備基準に基づき教材備品等を更新、学校図書館における蔵書の充実、整備に努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 教育企画課 事業 教育機器整備事業費 予算科目 01一般会計・10 教育費・03中学校費・02教育振興費

施策 1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営 創生総合戦略 該当なし

事業概要

時代に対応した教育環境の整備

目的

I C T環境の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		16,252	14,676

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和7年度に、フルクラウドの教育ネットワーク整備と児童生徒用端末の更新を行うことで、動作環境の遅さなどの課題を解決するとともに、教職員の働き方改革を促すことで、児童生徒に向き合う時間を創出し、個別最適・協働的な学びの一体的な充実を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 教育企画課 事業 給食センター管理費 予算科目 01一般会計・10 教育費・04学校給食費・01学校給食費

施策 1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営 創生総合戦略 5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進

事業概要

市内小・中学校の児童・生徒に給食を提供するため下記の事業を実施します。

- （１）学校給食センターの効率的な運営・管理
- （２）設備等の修繕及び計画的な更新
- （３）食物アレルギー対応食の提供
- （４）給食費の滞納繰越分の対応

目的

児童・生徒に安全・安心な給食を提供するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		314,019	299,512

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

施設整備後20年を経過したことから、施設内設備等の点検を実施し、優先順位を決めながら引き続き更新・修繕を行い、安心安全な給食の提供に努めて参ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課

事業 地域おこし協力隊推進事業費

予算科目 01一般会計・02 総務費・01総務管理費・06企画費

施策 1－3－1 英語を通じたコミュニケーション能力の育成

創生総合戦略

2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 移住・回帰につなぐきっかけづくり
都市部からの移住・交流の推進

事業概要

小学校の外国語授業・外国語活動補助を円滑に行うため、市内小学校に日本人外国語指導助手（ALT）を派遣します。

目的

英語教育を充実させることにより、社会が求める国際的な上山の子どもを育てる学校体制を整えるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	英語の学力の中で特に話すこと、聞くこと分野で偏差値等が伸びる状態	話すこと、聞くこと分野で偏差値が全国平均と同値になる状態 集中的英語学習体験の実施により、英語への関心・意欲が伸びる状態	話すこと分野で偏差値が全国平均を下回りましたが、聞くこと分野では、全国平均とほぼ同値となりました。 集中的英語学習体験の実施により、英語への関心・意欲が伸びました。
活動指標	地域おこし協力隊員配置人数	1 人	1 人
	イングリッシュ・キャンプ実施回数	1 回	1 回
事業費（千円）		5,257	4,096

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

教材研究の時間及び研修の機会を確保することで教員の授業力を向上させ、地域おこし協力隊員を効果的に活用し、英語を聞くこと、話すことの言語活動を推進します。外国語及び多文化へ触れる体験型イベントの開催等により、外国語への関心・意欲を促します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教育指導費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1－2－1 豊かな感性と健やかな体の育成 1－2－2 魅力ある学校づくりの推進 1－2－3 特色ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

各小中学校の学校経営や教育活動への指導、支援を行います。また、教科書採択及びＩＣＴ化に伴う教師用教科書、指導書の整備を行うとともに、学校教育指導に要する費用及び児童生徒の派遣費の補助を行います。

目的

全ての児童生徒への適正な教育と学校・学級経営の深化及び個々の担任力を高めるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒が学級での生活に満足していると自覚している状態	児童生徒が学級での生活に満足していると自覚している状態	児童生徒が学級での生活に満足していると半数以上が自覚していました。
活動指標	デジタル教科書の導入数	33 セット	33 セット
	児童生徒派遣費の補助実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		18,626	16,318

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

児童・生徒のニーズが多様化している中、教員の数が増え、抱えている業務が多くなっています。子どもと向き合う時間が十分とれなかったため、学級での生活に満足している割合が半数以上にとどまったものと思われます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続きデジタル教科書等を導入し、教員に教材研究の時間が確保できるようゆとりを創出していきます。体育大会等派遣費補助を継続し、学校生活に満足できる生徒を増やします。特に若手教員に対する研修等の機会を与え、学級経営能力を育成していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	魅力ある学校づくり推進事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進 1-2-3 特色ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

中学2年生が3日間の職場体験学習を通じて職業観、勤労観を育みます。
標準学力検査・知能検査・Q-U検査、GTEC等を行い、検査結果から学力向上や学級集団づくりに向けた対応を図るとともに、各校毎に地域の自然、文化や伝統産業を活かした特色ある教育活動を推進していきます。

目的

地域に密接した活動と個人の学力等を客観視することにより、主体的に学習に取り組む態度を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒の学習状況を把握し、必要に応じた学習活動を提供できる状態	保護者が短歌学習などの「上山市ならではの特色ある教育活動が展開している」と感じている割合が、前年度を上回る。	保護者が短歌学習などの「上山市ならではの特色ある教育活動が展開している」と感じている割合が、前年度とほぼ同じでした。
活動指標	特色ある学校づくり推進事業費の補助実施校数	7 校	7 校
	キャリアスタートウィークの実施校数	3 校	3 校
	標準学力検査、知能検査、Q-U検査等の実施校数	7 校	7 校
事業費（千円）		16,342	14,516

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標については、児童生徒・保護者のニーズが多様化するも、教職員数が減少し特色ある教育活動の展開を十分に行えなかったためです。事業費については、英検補助対象を本会場受験のみとしたので申請件数が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

職場体験学習を通じて職業観、勤労観を育みます。また、学力検査等の結果を学力向上や学級集団づくりに生かすことで、教職員のゆとりを創出し、各校毎の地域の自然や文化を活かした特色ある教育活動を推進していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教職員研修費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進 1－3－1 英語を通じたコミュニケーション能力の育成			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

上山市教育振興基本計画に基づき、大学や学術機関と連携した各種研修・講座を開催します。また、Q－U検査と学力検査のデータ分析から学級集団づくりを基盤とした担任力及び学力向上のための研修会を開催します。

目的

学級集団や学力の状況を客観的データで分析することや、講師の招へい、各種研修会の開催により担任力及び確かな学力の向上を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒が安心して楽しく意欲的に学校生活を送ることができる状態	児童生徒が学校生活や学習に満足し「学校に行くのは楽しい」と思っている状態 経験5年未満の教員に本市の課題に応じた研修を提供できる状態	児童生徒が「学校に行くのは楽しい」と思っている状態は、今年度は80%で前年度とほぼ同じでした。 経験5年未満の教員に本市の課題に応じた研修を提供しました。
活動指標	英語教育アドバイザーによる研修会	7 回	7 回
	Q－U検査活用・学級づくり研修会の実施回数	7 回	7 回
	中堅教員のアドバイザーへの起用人数	3 人	3 人
事業費（千円）		1,658	1,082

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

十分な対応ができるように予算を確保しましたが、児童生徒数の減少と対応する教職員の減少により予算の範囲内で対応できたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

学校生活をさらに安心して楽しく送ることができるように、Q U検査活用の充実とO J T機能の強化が図れるような研修を企画・運営していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教育支援充実事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進 1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

様々な障がいや不安を抱えた児童生徒に対し、個々のニーズに応じた支援等を行う人員及び中学校における部活動指導員の配置を行います。また、授業や校務におけるＩＣＴ活用を推進するため支援員の派遣を行います。

目的

通常学級及び特別支援学級に在籍する子どもにきめ細かい指導を行うとともに、家庭の問題や言語上の課題を抱え、学習困難な子どもに対して学校の窓口となり子どもも保護者も安心できる学校づくりを推進するため。
教員の働き方改革の実現を図り、学校教育活動の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	様々な障がいや不安を抱える児童生徒が、支援を受けることで学校へ行くことが楽しいと思う状態	小中学校全校に学校教育支援員を配置している状態	小中学校全校に学校教育支援員を配置しました。
活動指標	学校生活指導員配置人数	2 人	3 人
	学校教育支援員配置人数	12 人	12 人
	別室登校学習指導員、自立支援員配置人数	3 人	3 人
事業費（千円）		55,971	49,773

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

教職員のＩＣＴ活用が推進され、事業費についてＩＣＴ活用支援業務委託による支援員の派遣を抑えることができたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

支援を必要とする児童生徒の実態を把握し、適正な配置を行い、教員の働き方改革と学校教育活動の充実を図っていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	英語教育推進事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1－3－1 英語を通じたコミュニケーション能力の育成			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

小学校の外国語・外国語活動、中学校の英語科授業補助のため市内小中学校に外国語指導助手（ＡＬＴ）を派遣します。また、市内の児童生徒等の英語学習機会を拡充するため、英語教育コーディネーターを配置します。

目的

英語教育を充実させることにより、グローバル社会を生きるためにコミュニケーション能力を備えた上山の子どもを育てる体制を整えるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	英語の学力の中で特に話すこと、聞くことの分野で偏差値等が伸びる状態	話すこと、聞くことの分野で偏差値が全国平均と同値になる状態 ＡＬＴは各学級の外国語・外国語活動・英語科の授業へ週１回派遣されている状態	話すことの分野で偏差値が全国平均を下回りましたが、聞くことの分野では、全国平均とほぼ同値となりました。 ＡＬＴを各学級の外国語・外国語活動・英語科の授業へ週１回派遣しました。
活動指標	J E T プログラムＡＬＴ配置人数	2 人	2 人
	各学級の外国語・外国語活動・英語科の授業への週間ＡＬＴ派遣回数	1 回	1 回
	英語教育コーディネーター配置人数	1 人	1 人
事業費（千円）		16,841	13,392

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

J E T プログラムＡＬＴの１人が、前半任期終了後中途退職したため、３か月分の報酬等及び帰国費用弁償の支払い義務が発生せず、支出が生じませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

教材研究の時間及び研修の機会を確保することで教員の授業力を向上させ、ＡＬＴを効果的に活用し、英語を聞くこと、話すこと等の言語活動をとおしてコミュニケーションを図る教育活動を推進します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	地域ぐるみの学校安全体制整備事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

地域学校安全指導員であるスクール・ガード・リーダーを配置し、巡回指導や通学路の安全点検及び危険個所の確認を行います。

目的

通学路や地域の安全を保障することにより、安全・安心がある学校教育を推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	スクール・ガード・リーダーの配置により、登下校時の安全確保に努め地域ぐるみで児童生徒の安全への機運が高められた状態	スクール・ガード・リーダーの巡回指導の回数を増やすことで児童生徒の安全確保が一層図られている状態	スクール・ガード・リーダーの巡回指導の回数を増やすことで巡回指導を手厚く行うとともに、児童生徒の安全に対する意識づけの呼びかけができた。
活動指標	スクール・ガード・リーダー配置人数	1 人	1 人
	スクール・ガード・リーダー活動回数	75 回	79 回
事業費（千円）		324	324

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

特に危険個所を重点的に巡回してもらうことで児童生徒の安全確保に努めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課

事業 教育研究所等運営費

予算科目 01一般会計・10 教育費・01教育総務費・03教育研究費

施策 1－2－2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

教育に関する研究調査・研修の実施、所報「教育上山」の発行、社会科副読本「わたしたちの上山市」発行、市学校教育研究会事業への補助を行います。各校のホームページの運営管理により、情報の発信を広く行います。

目的

教育の情報収集、交換をすることにより、現在の担任力を深化させるとともに、学び合いの授業研究を推進し子どもの作品を活用することにより、担任力を向上させるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	市教委及び市内各団体の必要とする調査、研究及び教職員の研修を高め、教育の振興を図っている状態	教職員の研修会の内容及び担任力等に関して研究がより深められ、小中学校に情報を発信される状態 社会科副読本を利用してより実態に根ざした授業が展開される状態	教職員の研修会の内容及び担任力等に関して研究がより深められるよう小中学校に情報を発信しました。社会科副読本を利用してより実態に根ざした授業を展開しました。
活動指標	所報「教育上山」発行回数	1 回	1 回
事業費（千円）		698	605

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

小中連携による学び合いの授業研究や郷土愛を育む副読本の発行を通して、子どもたちの確かな学力の定着を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教育相談所運営費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・03教育研究費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

教育相談員を配置し、教育相談活動、生活支援、適正な就学にむけた教育支援を行います。

目的

不登校や特別な支援を要する子どもに個別の指導や適正な就学指導を行い、安心できる教育環境を整えるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	特別な支援を要する児童生徒の実態把握及び個々のニーズに応じた支援を行い不登校にならない状態	特別な支援を要する児童生徒で不登校傾向の児童生徒が前年度より減少した状態	不登校傾向の児童生徒向けの適応指導教室（すこやか教室）を開催するなどし、不登校傾向の児童生徒が前年度より減少しました。
活動指標	教育相談員配置人数	1 人	1 人
	専門員の配置人数	9 人	9 人
	適応指導教室設置数	1 箇所	1 箇所
事業費（千円）		5,706	5,509

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

学校及び関係機関と連携を図りながら、子どもたちが安心できる教育環境を整えていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課

事業 就学時健康診断費

予算科目 01一般会計・10 教育費・01教育総務費・04就園就学奨励費

施策 1－2－2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

次年度小学校入学予定者に対し、適正な就学にむけた就学時健康診断を実施します。

目的

就学時健康診断で健康状態を把握し、適正な就学を支援するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	小学校1年生の児童が不登校を発生せず、さらに、一人ひとりの健康状態を把握し保護者に助言できる状態	小学校1年生の児童が不登校を発生せず、さらに、一人ひとりの健康状態を把握し保護者に助言できる状態	小学校1年生の不登校は2名でした。一人ひとりの健康状態を把握し保護者に適切な助言を行いました。
活動指標	就学時健康診断の実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		396	337

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

家庭内の関わり方や本人の学校での不安の大きさにより2名が不登校となりましたが、3月には欠席0日となり継続して登校できるようになりました。

目標の実現に向けた今後の取組

就学児童や保護者が安心して入学できるよう、法令等に基づき就学先の学校や関係機関と連携を取りながら計画的に進めていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課

事業 私立高等学校就学奨励補助費

予算科目 01一般会計・10 教育費・01教育総務費・04就園就学奨励費

施策 1－1－2 子育て支援体制の充実

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

私立高等学校生徒の保護者に対し、補助金交付を行い経済的負担の軽減を図ります。

目的

就学奨励補助金を交付することにより、就学を支援するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	生徒の学習状況を把握し、必要な学習活動を提供できる状態	援助を希望する私立高校生徒保護者に審査のうえ補助金交付している状態	援助を希望する私立高校生徒保護者に審査のうえ補助金を交付しました。
活動指標	就学奨励補助実施率	70 %	50 %
事業費（千円）		600	330

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

十分な対応ができるように予算を確保しましたが、補助対象となった保護者が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き対象者になりうる保護者等へ制度内容が周知できるよう努めていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課

事業 小学校保健対策費

予算科目 01一般会計・10 教育費・02小学校費・01学校管理費

施策 1－2－1 豊かな感性と健やかな体の育成

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

児童、教職員の健康診断の実施及び保健室関連備品等の整備を行います。

目的

児童及び教職員の健康状態を管理し、学校教育を維持するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	全ての児童、教職員の健康状態を把握、管理するとともに必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行う状態	全ての児童、教職員の健康状態を把握、管理するとともに必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行う状態	児童、教職員の健康状態を把握、管理し、必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行いました。
活動指標	児童の健康診断実施率	100 %	99.8 %
	教職員の健康診断実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		9,338	7,688

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

検診日に病欠等の児童がいたため、全検診で100%となりませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

学校と連携を取りながら、法令等に基づき計画的に実施していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	学校教育振興費	予算科目	01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費
施策	1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

教育事務委託、日本スポーツ振興センター負担金を措置し、学校教育環境整備を図るとともに、学習指導要領に対応した教材備品等の整備を行います。

目的

山元地区及びみはらしの丘地域児童の就学並びに児童の怪我等への安全を保障し、安心できる教育環境を整えるとともに、市内小学校の教材、教具を購入・維持管理し授業改善を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	全児童の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態 教材備品が管理され、教育課程が予定通り行われている状態	児童の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態 教材備品が管理され教育課程が予定通り行われている状態	児童の怪我に対する医療給付を適切に行いました。 教材備品を管理し教育課程を予定通り行いました。
活動指標	教育事務委託人数	46 人	40 人
	日本スポーツ振興センター加入率	100 %	100 %
事業費（千円）		25,520	16,959

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費については、児童数の変動に対応できるよう予算を確保しましたが、実際に対象となった児童が少なかったためです。また、教育事務委託について、これまで多く支払っていた受益者負担と給食費等の精算を行い、総支払額が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、児童が安心できる教育環境を計画的に整えていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課

事業 小学校就学奨励費

予算科目 01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費

施策 1－2－2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

各種の就学援助を行い、保護者の経済的負担軽減を図ります。

目的

遠隔地通学の安全及び家庭の経済的な課題を解決し、魅力ある学校づくりを推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	遠距離通学を補助し無事故で通学している状態 保護者の経済的負担軽減が図られている状態	補助を行うことで、無事故で通学している状態 就学援助により経済的困難な保護者の負担軽減が図れる状態	補助を行うことで、無事故で通学できました。 就学援助により経済的困難な保護者の負担軽減を図りました。
活動指標	準要保護認定人数	65 人	68 人
	遠距離通学費の補助実施率	100 %	78 %
事業費（千円）		11,218	9,356

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

十分な対応ができるように予算を確保しましたが、遠距離通学費について補助対象となった保護者が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、学校と連携しながら遠距離通学費補助金等制度の周知を図っていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課

事業 スクールバス運行事業費

予算科目 01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費

施策 1－2－2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

スクールバスの運行（通学時及び校外行事等）を行います。

目的

スクールバスの運行により、安全を確保するとともに魅力ある学校づくりを推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		34,105	27,830

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

児童生徒の健全育成につなげるため、計画的で安全なスクールバスの運行を行います。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課

事業 中学校保健対策費

予算科目 01一般会計・10 教育費・03中学校費・01学校管理費

施策 1－2－1 豊かな感性と健やかな体の育成

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

生徒、教職員の健康検査の実施及び保健室関連備品等の整備を行います。

目的

生徒及び教職員の健康状態を管理し、学校教育を維持するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	全ての生徒、教職員の健康状態を把握、管理するとともに必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行う状態	全ての生徒、教職員の健康状態を把握、管理するとともに必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行う状態	生徒、教職員の健康状態を把握、管理し、必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行いました。
活動指標	生徒の健康診断実施率	100 %	97.9 %
	教職員の健康診断実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		5,845	4,787

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

検診日に病欠や不登校の生徒がいたため、全検診で100%となりませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

学校と連携を取りながら、法令等に基づき計画的に実施していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課

事業 学校教育振興費

予算科目 01一般会計・10 教育費・03中学校費・02教育振興費

施策

1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

教育事務委託、日本スポーツ振興センター負担金を措置し、学校教育環境整備を図るとともに、学習指導要領に対応した教材備品等の整備を行います。

目的

山元地区及びみはらしの丘地域生徒の就学並びに生徒の怪我等への安全を保障し、安心できる教育環境を整えるとともに、市内中学校の教材、教具を購入・維持管理し授業改善を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	全生徒の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態	生徒の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態	生徒の怪我に対する医療給付を適切に行いました。
	教材備品が管理され、教育課程が予定通り行われている状態	教材備品が管理され教育課程が予定通り行われている状態	教材備品を管理し、教育課程を予定通り行いました。
活動指標	教育事務委託人数	7 人	6 人
	日本スポーツ振興センター加入率	100 %	100 %
事業費（千円）		6,720	1,204

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費について、生徒数の変動に対応できるよう予算を確保しましたが、実際に対象となった生徒が少なかったためです。また、教育事務委託について、これまで多く支払っていた受益者負担と給食費等の精算を行い総支払額が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、生徒が安心できる教育環境を計画的に整えていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課

事業 中学校就学奨励費

予算科目 01一般会計・10 教育費・03中学校費・02教育振興費

施策 1－2－2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

各種の就学援助を行い、保護者の経済的負担軽減を図ります。

目的

遠隔地通学の安全及び家庭の経済的な課題を解決し、魅力ある学校づくりを推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	遠距離通学を補助し無事故で通学している状態 保護者の経済的負担軽減が図られている状態	補助を行うことで、無事故で通学している状態 就学援助により経済的困難な保護者の負担軽減が図られている状態	補助を行うことで、無事故で通学できました。 就学援助により経済的困難な保護者の負担軽減を図りました。
活動指標	準要保護認定人数	46 人	43 人
	遠距離通学費の補助実施率	100 %	81 %
事業費（千円）		9,982	7,415

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

十分な対応ができるように予算を確保しましたが、補助対象となった保護者が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き対象者になりうる保護者等へ制度内容が周知できるように努めていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	生涯学習推進費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・01社会教育総務費
施策	1－5－1 生涯学習環境の整備			創生総合戦略	該当なし

事業概要

生涯学習活動の支援を通して多様な生涯学習を推進します。

目的

人・自然・歴史・文化など地域の特性を活かした生涯学習を展開するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	生涯学習が推進されている状態	生涯学習が推進されている状態	地区公民館や生涯学習団体による講座等を開催しました。
活動指標	社会教育委員会開催回数	2 回	2 回
事業費（千円）		3,285	2,085

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

社会教育指導員の採用が年度当初からできず、7月下旬から採用となったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

地区公民館を中心に人・自然・歴史・文化など地域の特性を活かした生涯学習を展開し、また生涯学習団体による市民参加型の学びの場を支援してまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 公民館費 予算科目 01一般会計・10 教育費・05社会教育費・02公民館費

施策 1－5－1 生涯学習環境の整備 創生総合戦略 該当なし

事業概要

市民が安全に安心して学習できる生涯学習環境を整備します。

目的

地域活動の拠点施設である地区公民館を効率的に管理運営するとともに、安全で快適に利用できるようにするため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		151,031	148,814

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

全ての公民館が安全に安心して学習できる施設となるよう適切な公民館の維持管理に努め、また効果的で効率的に運営できるよう指定管理者制度による運営を行ってまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 青少年費 予算科目 01一般会計・10 教育費・05社会教育費・03青少年女性費

施策 1-5-1 生涯学習環境の整備 1-10-1 参加しやすい市民交流の実施 創生総合戦略 該当なし

事業概要

青少年育成のための各種事業を実施します。

目的

青少年育成に関する各種事業を展開し、心豊かな子どもの育成と郷土愛のある青年づくりを推進します。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	青少年の健全育成の推進が図られている状態	青少年の健全育成の推進が図られている状態	青少年の健全育成を推進しました。
活動指標	ジュニアリーダーあすなろ会員数	12 人	22 人
	他自治体との青少年交流事業回数	2 回	2 回
	二十歳のつどい参加率	75 %	73.6 %
事業費（千円）		4,864	3,768

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

二十歳のつどいの記念品や海の子山の子交歓会の宿泊費用等において、想定より安価であったためです。ジュニアリーダーあすなろ会員数については、北中及び南中の3年生にあすなろについて説明を行い、また会員からの紹介もあって増となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

青少年の健全育成のため、引き続き各取組・各事業の魅力ある企画をしていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 地域学校協働活動推進事業費 予算科目 01一般会計・10 教育費・05社会教育費・03青少年女性費

施策 1-5-1 生涯学習環境の整備 1-2-3 魅力ある学校づくりの推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

就学児童に多様な体験・学習の機会を提供し、地域全体で子育てを支援する環境を整えることを通して、子どもの安全・安心な居場所づくりを推進します。

目的

生涯学習事業を効率的で効果的に推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	放課後子ども教室に参加する児童が、提供されるプログラムに満足している状態	放課後子ども教室に参加する児童が、提供されるプログラムに満足している状態	放課後子ども教室に参加した児童の82%がプログラムに満足しました。
活動指標	放課後子ども教室平均参加人数	15 人	12 人
事業費（千円）		25,541	19,999

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

就学児童数の減少に伴い、放課後子ども教室に参加する児童数も減少したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

子どもたちが安心して集まり、さまざまな体験を楽しめる場となるよう、講師やサポーターの体制を整え、プログラムの質の向上に取り組んでまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	文化財等保護管理費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・04文化芸術費
施策	1－6－1 文化財愛護による地域づくり			創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

事業概要

ふるさとの歴史を今に伝える文化財を適正に保存活用し、正しく後世に継承します。

目的

歴史遺産である文化財の適正な保存と活用を通して、ふるさとの誇りと郷土愛を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	歴史的建造物を適正に保存管理し、正しく後世に継承する状態	歴史的建造物の適正保存管理と活用が行われている状態	歴史的建造物の適正保存管理と活用を行いました。
活動指標	歴史的建造物の入館者及び利用者数	8,000 人	9,832 人
	歴史的建造物保存管理棟数	4 棟	4 棟
	地元小学校の地域学習受入回数	4 回	4 回
事業費（千円）		8,388	6,979

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

歴史的建造物を適正に保存するとともに、文化財の調査や公開活用を通してふるさとの理解を深め、郷土愛の醸成に努めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	文化芸術振興事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・04文化芸術費
施策	1－6－2 文化芸術の環境づくり			創生総合戦略	該当なし

事業概要

文化芸術活動に取り組む団体や指定文化財の保護団体（保存会）を支援するとともに、文化芸術活動に功績のあった個人団体を文化芸術功労者として顕彰します。茂吉のふるさととして斎藤茂吉全国大会など茂吉に縁のある多様な催事を開催します。また文化芸術団体が日頃の活動の成果を発表するとともに、文化芸術作品に身近でふれる機会として、上山市総合文化祭を開催します。

目的

文化芸術団体や文化財に携わる保護団体の支援及び顕彰を通して文化芸術に対する意識の高揚を図り、心豊かな人づくりに資するとともに、優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供することを通して、文化芸術に対する意識の高揚を図り、心豊かな人づくりに資するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	文化芸術活動や文化財保護活動が住民主導で行われている状態	文化芸術団体及び文化財保護団体が支援されている状態	文化芸術団体及び文化財保護団体を支援しました。
活動指標	文化団体協議会の加盟団体数	20 団体	22 団体
	斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール応募短歌数	10,000 首	8,407 首
事業費（千円）		5,610	5,105

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール応募短歌数の減少について、応募学校数は昨年128校に対し134校と微増していますが、少子化による児童・生徒数の減少により1校あたりの応募数が減少したと考えられるためです。

目標の実現に向けた今後の取組

文化芸術の振興を図るため、郷土芸能や伝統文化を保存継承する保存会や文化団体協議会等の活動支援を通して、文化芸術に対する意識のさらなる高揚を図り、心豊かな人材の育成を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	武家屋敷保存活用事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・04文化芸術費
施策	1－6－1 文化財愛護による地域づくり			創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

事業概要

藩政時代の面影を今に伝える4軒の武家屋敷（いずれも市指定文化財）を適正に保存活用し、正しく後世に継承します。

目的

本市を代表する歴史的建造物である武家屋敷の保存と活用を通して、地域資源に磨きをかけ、ふるさとに対する誇りと郷土愛を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	武家屋敷を適正に保存管理し、活用が図られている状態	武家屋敷の適正な保存・整備・活用が図られている状態	武家屋敷の適正な保存・整備・活用が行われました。
活動指標	武家屋敷保存軒数	4 軒	4 軒
	旧曾我部家活用団体数	7 団体	8 団体
事業費（千円）		5,500	4,675

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

茅葺文化を地域で守る「かみのやま草屋根プロジェクト」の支援を通して茅葺の歴史的建造物を適正に保存するとともに、武家屋敷の風情を活かした文化活動の拠点施設として多様に活用することを通して、ふるさと理解をさらに深め、郷土愛の醸成に努めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	国史跡保存活用整備事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・04文化芸術費
施策	1－6－1 文化財愛護による地域づくり			創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

事業概要

日本の歴史を今に伝える国史跡を適正に保存し、史跡を構成する貴重な遺構群を調査することを通して史跡の価値をより一層高め、上山独自の地域性を活かしたふるさとの活性化に寄与します。金山越え羽州街道における市民史跡保全活動（県補助事業、補助率10/10）

目的

国史跡を正しく管理し、貴重な地域資源に磨きをかけることを通して、地域の魅力を高め、ふるさとに対する誇りと郷土愛を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	国史跡を適正に保存管理し、活用が図られている状態	国史跡の適正な保存・整備・活用が図られている状態	国史跡の適正な保存・整備・活用が行われました。
活動指標	市民史跡保全活動回数	3 回	3 回
	国史跡探訪会回数	3 回	3 回
事業費（千円）		7,090	5,441

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

国史跡羽州街道金山越において倒木等の発生が無く、倒木撤去に係る重機の使用及び運搬に係る支出が無かったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

地区組織と連携して史跡の保存活用活動を継続します。また、保存活用計画に基づき、遺構の調査や記録保存を通して史跡の価値を高め、ふるさとに対する誇りと郷土愛の醸成に努めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	図書館管理運営費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・05図書館費
施策	1－5－2 図書館機能の充実と読書活動の推進			創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり 文化財の適正な保存と活用の推進

事業概要

自主的な学びの場、読書活動の振興を担う機関として、また、地域の文化・知的情報の拠点として、利用者及び住民の要望や社会の要請に応えることができるよう地域の実情に即した市立図書館の運営を行います。

目的

図書資料等を計画的・体系的に収集し、所蔵資料の充実を図り、利用者の多様なニーズや課題に対応することで、読書活動を推進するため。生涯学習の拠点施設として、地域関連講座や企画展等を開催し、学びの機会を提供するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	図書館資料を活用し読書活動が推進されている状態 地域関連講座等により学びの機会が提供されている状態	図書館資料を活用し読書活動が推進されている状態 地域関連講座等により学びの機会が提供されている状態	図書館資料を活用し読書活動を推進しました。 地域関連講座等により学びの機会を提供しました。
活動指標	図書館資料を用いたテーマ展示回数	20 回	20 回
	館内でのイベント回数	110 回	115 回
事業費（千円）		71,819	67,008

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

計画的・体系的な資料の整備を行うとともに、市内各学校や団体との連携を推進して市民及び利用者のニーズや時勢に沿った事業・イベント等を実施し、学びの機会を提供してまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 保健体育総務費 予算科目 01一般会計・10 教育費・06保健体育費・01保健体育総務費

施策 2-2-1 生涯にわたるスポーツ活動の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員会を開催し地域スポーツの活性化を推進します。また、部活動地域展開に向けた検討を進めるため、総括コーディネーターを配置します。

目的

する・観る・支えるスポーツを推進するため、だれもがスポーツに親しめる機会や場を提供できるようにスポーツ推進審議会を開催し、提言や助言を計画や方向性に反映させ、効率的で効果的な事業を実施するため。また、スポーツ推進委員会及び部活動地域展開検討委員会・分科会において、地域スポーツの活性化を推進し、誰もがスポーツに親しむ機会の創出をし、また、子どもを取り巻く地域のスポーツ環境の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	だれもがスポーツに親しめる機会や場を提供されている状態	スポーツ推進審議会等を開催している状態	スポーツ推進審議会等を開催し、地域スポーツの活性化を図りました。
活動指標	スポーツ推進審議会の開催数	1 回	2 回
	スポーツ推進委員会の開催数	11 回	11 回
	部活動地域展開検討委員会・分科会の開催数	3 回	4 回
事業費（千円）		4,593	4,149

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

スポーツ推進審議会の開催数に関して、市のスポーツ推進計画の策定について検討する必要があり2回の開催となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

スポーツ推進審議会やスポーツ推進委員会、部活動地域展開検討委員会・分科会を通じ、だれもがスポーツに親しめる機会や場を提供していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 スポーツ振興事業費 予算科目 01一般会計・10 教育費・06保健体育費・02体育振興費

施策 2-2-1 生涯にわたるスポーツ活動の推進 2-2-2 スポーツを通じた地域活性化の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

各団体に委託や補助を行い、スポーツに親しむ機会の創出や競技力向上のための大会を開催します。

目的

市民がスポーツに親しむことのできる機会を提供するとともにジュニア期からトップレベルに至る競技力向上のためのスポーツ環境の整備を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	スポーツ大会等に参加者がライフステージに合わせて出場できる状態	スポーツ大会等に参加者がライフステージに合わせて出場できる状態	スポーツ大会等に参加者がライフステージに合わせて出場できるよう機会の提供と環境整備を行いました。
活動指標	大会開催件数	1 件	1 件
	負担金補助金交付大会件数	13 件	8 件
事業費（千円）		15,072	14,588

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

冬季大会で雪の状況等が影響し開催できなかった大会が複数生じたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

各種大会について改めて精査し、適切に負担金・補助金を交付し各種大会を開催支援し、市内のスポーツイベントを盛り上げていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 競技スポーツ振興事業費 予算科目 01一般会計・10 教育費・06保健体育費・02体育振興費

施策 2-2-1 生涯にわたるスポーツ活動の推進 2-2-2 スポーツを通じた地域活性化の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

上山市スポーツ協会に委託し競技力向上に努めます。

目的

ジュニア期からトップレベルに至る競技力向上のためのスポーツ環境の整備を図り、全国クラスの選手育成を目指すため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	選手、指導者ともに育成が図られ全国大会に出場している状態	スポーツ大会等に参加者がライフステージに合わせて出場できる状態	スポーツ大会等に参加者がライフステージに合わせて出場できるよう環境整備を行いました。
活動指標	指導者講習会を含めた競技力向上委員会の開催回数	5 回	3 回
	強化指定競技団体数	11 団体	11 団体
事業費（千円）		2,820	2,820

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

競技力向上委員会の開催ですが、当初3回の開催を想定をしていましたが内容を精査し1回のみ開催としました。

目標の実現に向けた今後の取組

指導者の育成や各スポーツ団体への支援を通じ、部活動地域展開を中心にスポーツ環境が大きく変化する中、様々なスポーツを行える環境整備を整えていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 生涯スポーツ振興事業費 予算科目 01一般会計・10 教育費・06保健体育費・02体育振興費

施策 2-2-1 生涯にわたるスポーツ活動の推進 2-2-2 スポーツを通じた地域活性化の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

本市における各種大会開催は競技力向上だけではなく、関わった全ての人の連携・協働によりスポーツ活動の推進を図るとともに、宿泊を伴う大会を中心に開催することで本市ツーリズムの推進を図ります。

目的

大会参加者、ボランティア、応援者、その他関係者が一体的に共有できるスポーツイベント等を通して、スポーツも観光資源の一つととらえ交流人口の増加を図り、地域づくりを目指すため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	「する」「観る」「支える」スポーツへのそれぞれの関わりを持ちながら大会に参加している状態	「する」「観る」「支える」スポーツへの参加がバランスよく整っている状態	「する」「観る」「支える」でスポーツに関わる環境を提供するため、各種大会の主催・共催等を行いました。
活動指標	大会開催件数	4 件	4 件
	スポーツ教室開催回数	130 回	102 回
事業費（千円）		3,660	3,660

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

賃金水準の上昇等の影響から講師謝礼単価も上昇し、教室開催回数が減少しました。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、各種大会を主催・共催等支援を行いながらスポーツに関わる環境づくりに努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 スポーツ団体等育成費 予算科目 01一般会計・10 教育費・06保健体育費・02体育振興費

施策 2-2-1 生涯にわたるスポーツ活動の推進 2-2-2 スポーツを通じた地域活性化の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

スポーツ振興の推進及びスポーツ団体等の育成を図ります。

目的

大会参加者、ボランティア、応援者、その他関係者が一体的に共有できるスポーツイベント等を通して、スポーツも観光資源の一つととらえ交流人口の増加を図り、地域づくりを目指すため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	スポーツ団体を支援し、それぞれの団体の活動が推進されている状態	スポーツ団体を支援し、それぞれの活動が推進されている状態	スポーツ団体の支援に努め、専門部会及び指導者研修会を開催しスポーツインテグリティ（誠実性、健全性、高潔性）の確保に努めました。
活動指標	専門部会開催回数	3 回	3 回
	広報誌発行回数	2 回	2 回
事業費（千円）		9,097	9,097

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、スポーツ団体を継続的に支援し、各専門部会及び指導者研修会等を行いながらスポーツにおける安心・安全の確保に努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 体育施設費 予算科目 01一般会計・10 教育費・06保健体育費・03体育施設費

施策 2-2-1 生涯にわたるスポーツ活動の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

市内公共スポーツ施設の改修や適正な管理運営をすることにより、地域のスポーツ施設の充実を図ります。

目的

障がいの有無にかかわらず全ての市民が安心してスポーツ活動を行えるよう、公共スポーツ施設の改修や適正な管理運営をすることにより、地域のスポーツ施設の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		139,715	135,713

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

公共施設総合管理計画に沿いながら施設の維持・管理に努めスポーツ活動の充実を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	蔵王坊平アスリートヴィレッジ事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・06保健体育費・04蔵王坊平アスリートヴィレッジ費
施策	2-2-1 生涯にわたるスポーツ活動の推進 2-2-2 スポーツを通じた地域活性化の推進			創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

事業概要

- （１）蔵王坊平アスリートヴィレッジ開発整備に係る課題の調査、研究を行うとともに、関係機関、団体等との連携を図り、もって計画構想を推進し、地域経済の活性化への貢献を目指します。
- （２）ＺＡＯたいらぐら、クロスカントリーコース、グリーングラウンド、猿倉イベントパークなどの蔵王坊平アスリートヴィレッジを適正に管理・運営するとともに、合宿利用者の利便性向上のため必要な備品を整備します。

目的

- ①ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設（高地トレーニング）施設として指定を継続させながら、リカバリー施設を加えた蔵王坊平アスリートヴィレッジ施設の利用促進や2025年東京世界陸上競技選手権大会等の国際大会の事前合宿誘致に取り組むことにより、本市におけるスポーツツーリズムとして交流人口の拡大及び市の競技力向上ひいては日本の国際競技力向上に寄与するため。
- ②蔵王坊平アスリートヴィレッジを適正に管理・運営し、本市におけるスポーツツーリズムとしての交流人口拡大及び市の競技力向上ひいては日本の国際競技力向上に寄与するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点（高地トレーニング）施設として指定が継続され、ジュニアからトップアスリートまで幅広く利用されている状態。 蔵王坊平アスリートヴィレッジ施設が適正に管理運営され、幅広く右肩上がり利用されている状態。	NTC指定が継続され、合宿補助金が活用されている状態。 蔵王坊平アスリートヴィレッジ施設が適正に管理運営され、利用されている状態。	施設が適正に管理・運営され、NTCの指定が2028年ロスアンゼルスオリンピックまで指定継続されました。
活動指標	トレーニング機器及び施設の更新件数	1 回	1 回
	ナショナルレベル利用活動日数	190 日	194 日
事業費（千円）		39,899	36,645

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

--

目標の実現に向けた今後の取組

引続き、施設を適正に管理・運営し、2025世界陸上東京大会の事前合宿受入れ等に取り組みながら国際的にも認められる施設を目指します。
